

「減災シンポジウム in 杵築市」開催

日時 令和8年1月25日(日) 午後1時30分～

場所 杵築市文化体育館

ぜひ、ご来場ください！

「減災シンポジウム」では、杵築高校の生徒や大分大学の学生といった次世代を担う若者から、持続可能な減災社会の実現に向けた提言を行います。

近年、気候変動の影響により、日本各地で自然災害が多発化・激甚化しています。杵築市では、過去に山香地域において、昭和51年9月台風第17号による土砂災害、杵築地域において、平成9年9月台風第19号及び平成10年10月台風第10号による河川氾濫など、人的被害を含む甚大な被害が発生しました。また、昨年の令和6年8月台風第10号でも甚大な被害が発生しています。こういった風水害だけではなく、今後、別府湾を震源とした地震や南海トラフ巨大地震など、迫り来る大規模災害に対し、次世代を担う若者世代は、この災害多発時代を乗り越えていかなければなりません。「減災シンポジウム」は、杵築市、大分大学などの防災関係機関と、杵築高校の生徒や大分大学の学生といった若者世代と一緒に、過去に杵築市で発生した災害や地形的特性を理解し、多様な災害への備えや課題について考え、杵築市における災害多発時代に向けた防災や減災社会のあり方を議論して、次世代を担う若者から、持続可能な減災社会の実現に向けた提言を行います。

高校生や大学生の防災・減災に関する思いや考え方などに触れていただき、防災・減災意識を高めていただくことを目的としていますので、多くの市民の皆様にご来場いただきますよう、お願いします。

担当課：杵築市役所危機管理課防災係 合田 TEL：0978-62-1802

【裏面もご覧ください。】

令和8年

1月25日[日]

13:30～16:00

杵築市文化体育館

〒873-0014 大分県杵築市大字本庄2005

入場無料 ※事前申込不要

司会進行 大分県立杵築高等学校生徒

1 災害を学ぶ

杵築市における災害リスクを学ぶ

発表者 鶴成 悦久 — 大分大学 教授

※関係機関からの防災トピックス提供

2 実践的な避難計画に向けて

要配慮者利用施設の避難確保計画の
実践活動について(事例発表)

発表者 重松 賢一郎 — 小規模多機能型施設ひまわり荘

3 減災社会に向けた若者からの提言(NIPPON 防災資産 活動)

杵築高校生・大分大学学生による減災社会への提言

4 みんなで地域防災・減災を考える

会場参加型によるディスカッション
「みんなでつくる杵築の防災・減災」

パネリスト 永松 悟 — 杵築市長
藤川 将護 — 大分県生活環境部防災局長
酒井 亮太 — 気象庁大分地方気象台長
杵築市民代表
杵築高校生代表

コメンテーター 三谷 泰浩 — 九州大学 教授

コーディネーター 鶴成 悦久 — 大分大学 教授

令和7年度

減災シンポジウム

レジリエント社会・地域共創シンポジウム

持続可能な
減災社会の実現に向けて

in
杵築市

[お問い合わせ] 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター
杵築市役所 危機管理課 防災係

[TEL]097-554-7333
[TEL]0978-62-1802

[主 催] 国立大学法人 大分大学

[共 催] 杵築市, 大分県, 気象庁大分地方気象台, 国土地理院九州地方測量部,
一般社団法人国立大学協会

[後 援] 九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター, NHK大分放送局,
OBS大分放送, TOSテレビ大分, OAB大分朝日放送

[協 力] NPO法人リエラ, 大分県立杵築高等学校

